

人工股関節全置換術(THA)クリニカルパス

病名()

氏名(様)

| | 外来 | 入院～手術前日 | 手術当日(手術前) | (手術後) | 術後1日目 | 術後2～4日目 | 術後5日目～退院まで | 退院日 |
|--------|---|--|---|--|--|---------|---|--|
| 説明 | ○入院前準備センターでお話を聞きます。 ○入院申し込みなど手続きの説明をします。 | ○麻酔科医の診察があります。 ○主治医より手術説明があります。 主治医の状況によって遅くなることもあります。ご家族の方もお待ちいただきますようお願いいたします。 | 手術: 時 分予定 家族の方は、手術予定時間の1時間ほど前には病棟にお越し下さい。 | 全身状態が不安定な場合は集中治療室(HCU)へ入室することがあります。 | | | | 入院14日間で転院か退院となります  |
| 治療処置検査 | ○術前検査があります。 ・血液検査 ・心電図、レントゲン    | ○リストバンドを装着します。 ○弾性ストッキングの測定をします。 ○足背に印を入れます(看護師) ○手術側にマジックで印を入れます(主治医) | 手術中、家族の方は4階手術室前でお待ち下さい。  | ○自動血圧計がつけます。 ○酸素を使用します。 ○傷口にチューブが入ります → 問題がなければ翌日には抜けます。 ○弾力ストッキングをはきます。 ○足にマッサージ機がつけます ○点滴がはいります。 | | | | 医師によるガーゼ交換があります(適宜) → 転院か退院までに医師が被覆材を除去します 採血・レントゲンの検査が入ります(適宜) → |
| 薬 | ○現在内服中のお薬(全種類2～3日分)と、お薬手帳を持参して下さい。 ○常備薬(市販薬・サプリメント)服用については医師に確認して下さい。 | 薬剤師は医師と情報共有して、薬物療法を安全に進めていきます。 手術前日の夜から食事・水分・内服薬の変更指示が出ます。説明は、入院後に看護師から行います。 | ○背中痛み止めのチューブが入る場合があります ○手術当日の吐き気・痛みに対しては点滴を使用します。  | 朝から鎮痛剤の定期内服を開始します。 術後は院内処方薬に切り替わります。常備薬の内服再開は、医師に確認してください。 血栓予防薬の内服が始まります。 | | |  | |
| 食事 | | | 絶飲食  | ○術後3時間以降、お腹が動いていれば水分が飲めるようになります。  | 朝から食事開始になります | | | |
| 排泄 | | | | ○尿カテーテルが入ります(手術中に入ります) | ○ベッド上安静中の排便は、床上便器を使用します。  | | ○リハビリ状況にあわせて尿カテーテルを抜きます。 | |
| 活動 | | 病院内は自由です  | | ベッド安静です | ○リハビリを開始します。 ・傷口のチューブが抜けてから本格的にリハビリを行っていきます。   | | | |
| 清潔 | ○爪を切って下さい。 ○指輪は外して下さい。   | ○手術前日はシャワー浴を行って下さい。午後入院の方は自宅でできるだけすすませて下さい。  | | | ○体を拭きます。 尿カテーテルが入っている間、陰部洗浄を毎日行います。 | | 術後5日目以降でシャワー浴を開始します。  | |
| その他 | ○手術準備物品 ・T字帯(1枚) ○2週間パス: 地域医療連携センター介入、転院調整が始まります。 ○禁煙して下さい。 ○除去物について ジェルネイル/マニキュア、エクステンション(まつげ、付け毛)など、専門店での除去が必要なものは外して下さい。 | ○病棟案内をします。 ○手術の流れを説明します。 ○手術必要物品を確認します。 ○転院希望の方は、担当者が面談・調整を行います。  | 〈手術室入室前チェック〉 ○身体から外せるものは、すべて取り外して下さい。 例) ○アクセサリー ○マニキュア ○入れ歯、湿布薬 ○コンタクト・レンズ ○金庫の鍵(家人に預ける) | ☆術後、翌朝までは2時間毎に足の運動・痺れの状況を確認します。 | ☆弾力ストッキングの使用により、皮膚にかゆみや痛みを感じる事があれば看護師に伝えて下さい。 ☆術後、足に痺れや感覚障害、運動障害が出現したときはすぐに看護師に知らせてください。 ☆退院時までに、人工関節手帳をお渡しします。 □主治医のサイン確認 | | ◎この用紙は入院時必ず持参して下さい。 ◎治療はこのクリニカルパスを基準に進めていきますが、個人差により一部変更する場合があります。 ☆診断書・証明書等が必要な場合は、文書窓口(2階)で手続きして下さい。 | |